

第 195 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：2013 年 12 月 14 日（土） 13:00～18:30

場所：大阪工業大学うめきたナレッジセンター（〒530-0011 大阪市北区大深町 3 番 1 号）
（グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル タワーC 9 階 応接室）

出席者：馬野（会長）、林（副会長）、中嶋（副会長）、乾口（将来構想）、秋山（賞選考）、
井上（会計）、関（広報）、徳丸（事業）、星野（電子化検討）、前田（庶務、会誌）、
安信（会計監事）

欠席者：佐藤（他学会連携）、工藤（大会事業）、和多田（事業監事）、
三河（オブザーバ：編集委員長）

1. 前回議事録の承認（資料 195-0）

第 194 回理事会の議事録の確認を行い、承認された。

2. 理事会メーリングリスト報告済事項の確認

理事会メーリングリストで既に報告されている以下の事項の確認および報告がなされた。

(1) ソフトコンピューティング 100 選の名称決定について（関）

・関理事から、理事会内でのソフトコンピューティング 100 選の名称を募ったところ、圧倒的多数で
“SOFT Computing Repository”に決定されたことが報告された。

(2) SCIS&ISIS2014 準備状況および将来構想委員会（工藤、馬野）

・井上理事から、資料 195-13 を基に、運営資金貸与が承認されたことが報告された。本運営資金に
ついては、すでに交付済みであること、工藤理事から SCIS 会計担当に振込の連絡がなされたこと
も報告された。

・馬野会長より、今年度の ISIS 自体は 300 名程度の参加であったが、開催期間中に行われた将来構
想委員会では、特に重要な将来の話はなかったとの報告があった。本委員会には、馬野会長、生駒
先生、徳丸理事、林理事、等が参加した。

(3) 事務局との業務委託契約について（井上）

・井上理事より、前回の理事会以降に修正案を呈示し、三河編集委員長以外、特に意見がなかったの
で、事務局に連絡をとってそのまま契約することになったことが報告された。

(4) IFSA2017 準備委員会について（馬野）

・馬野会長の呼びかけで、準備委員会のメンバーを招集し、林副会長が General Chair を務めるこ
とになった。台湾と日本が期限までに Proposal をすでに提出済みとのこと。日本側は天津でやる
方向で林副会長が Proposal を作成した。準備委員会は General Chair を決めた段階で役目は終了。

・林副会長より今回の Proposal について、参加者は 350 名程度を予想しており、ピアザ淡海（おう
み）で実施することを計画したとの報告があった。会議室やホールが比較的安価で借りることがで
き、ホテルも隣接しているので便利であるとの説明があった。今回は Low Cost & High Hospitality
(LCH2) をモットーにすることも紹介された。

(5) 第 2 回横幹会議報告について（馬野）

・馬野会長より、先日、横幹連合の会長（約 25 名）が集まる会議があったことが報告された。ここ
では、政府の総合科学技術会議の久間氏、原山氏が中心に科学技術イノベーション政策に関する会
議が開催され、今後のことが話し合われたことが紹介された。

(6) 大会管理システムの修正依頼（星野）（資料 195-12：当日配布）

・星野理事より、来年の FSS 大会 HP は概ね完成していることが報告された。ポスターは、ほぼデザ

インも固まっております、学会誌2月号に同封することで依頼が行われているとのことであった。1月には企画セッションの依頼を出し始める予定であることも紹介された。

- ・星野理事より、学会 SNS 大会管理システムの修正に関して以下の報告および提案がなされた。
 - (a) カラーチップスへの会議システム修正依頼は、FSS 関係の修正をすべて込みにして依頼する予定であり、誕生日の必須入力の変更で5万円と高額すぎるため、依頼をまだ出していないことも報告された。
 - (b) 現在、SOFT メールアドレスが3つ（編集委員会、広報委員会、事務局）ほど存在するが、すべてカラーチップスが管理している。このエイリアスを変更するのに毎回1件5千円かかっているが、今後は gmail に飛ばすようにしてはどうかとの提案があり、承認された。
 - (c) SCIS 大会 HP は、生駒先生が九州工大のサーバで「お名前.com」でドメイン名を取得済みであり、近日中に現在の HP を引っ越し予定であることが報告された。論文投稿システムは EasyChair を使用する予定で、大会 HP からはリンクを張るだけであるとのこと。SCIS 実行委員会には会員外メンバーがいるので、SNS にアカウントを作るようにカラーチップスに依頼した。
 - (d) 現在の SNS の名称変更について、ドメイン名をどうするかが議論され、「会員データベースシステム」で統一することが承認された。
 - (e) 事務局からの年会費の Paypal での依頼について、システムが単年度しか請求できないようになっているので、過去の複数年の追加請求分は事務局から別途請求するようになりたいとの意見が出され、了承された。
 - ・林副会長から、すでに会費納入の案内が送られているので、新規会員は強制的に誕生日の入力を必須にした方が良いとの指摘があった。また、電子情報通信学会が会員情報をすべて電子的に管理していて参考になることも報告された。
- (7) 運営方針に関するアンケート調査（乾口）（資料 195-1）
- ・乾口理事より、学会誌 12 月号が 1 月初旬に入荷するため、会員の手元には 1 月末に届く予定であるので、同封するアンケート締切を 2 月末にしたことが報告された。また、同封の返信用封筒を糊付けタイプにし、送付先は事務局アンケート係とすることも報告された。アンケート結果の集計については 2 名の学生アルバイトにお願いする予定とのこと。
- (8) 学会誌論文掲載料について（三河、馬野）（資料 195-10）
- ・馬野会長より、編集委員長に SOFT 学会誌に掲載が決まった論文の著者（匿名で記す）から連絡があり、論文掲載料が他学会より高いため価格を下げる努力をするよう要請があったことが報告された。これに対し、馬野会長から直接ご本人に電話をしたが、他学会よりも高いと一方的に主張されたことも報告された。その後、ご本人は今回の論文の支払いについては了承された模様。
 - ・今回の事態を受け、馬野会長から、これを機会に一度掲載料を見直しても良いのではないかとの提案がなされた。今回の意見をきっかけに、編集委員会に伝えて価格を下げる検討もしてもらおうよう、三河先生に依頼したいとの意見が出された。また、現在は、掲載料の支払いは掲載決定時になっているが、もし値上げをするなら、投稿時に変更すべきであるとの意見もあった。
- (9) 名誉会員承諾について（林）（資料 195-2）
- ・林副会長より、名誉会員の候補者に案内を出して打診したところ、全員から回答があったことが報告された。さまざまな意見があったが、全員、了承の回答であったとのこと説明された。
- (10) 日本学術会議会員及び連携会員の候補者に関する情報提供（馬野、前田）（資料 195-11）
- ・馬野会長より、日本学術会議会員及び連携会員の候補者について、事務局に来年 10 月 1 日付けで、67 歳未満の会員をリストアップしてもらい、馬野先生が 2 名程度選出し、理事会 ML に提案することになった。
- (11) 会計からの報告（井上）（資料 195-13：当日配布）
- ・井上理事から、以下の報告および提案がなされた。

- (a) 10月の月次決済報告があり、会費収入が落ち込んでおり、今年の4～10月の会費収入が582万円で、昨年と比べると50万円ほど落ち込んでいる。
- (b) 会誌関係はあまり黒字が出ていないので、現在のところ値下げは難しく、適正価格であると思われる。
- (c) 前理事会の弁護士事務所の費用をどこに入れるかが問題である。
(これについて、決算報告時に赤字にしておいて説明すべき、現在維持費に入れているのを備考欄に記載したほうが良い、との意見が理事から出された。)
- (d) 学会誌の販売価格の消費税アップ対応について、現在同様、非会員のみ外税、会員・年間購読者は内税で継続する。
- (e) バナー広告の収入は50000円/年であるが、これまでどおり内税とする。
- (f) 別刷は現在内税であるが、若干アップしないといけないかもしれない。

3. 理事会メーリングリスト審議済事項の確認

理事会メーリングリストで既に審議されている以下の事項の確認と審議がなされた。

- (1) 大会事業委員会の再編成について（工藤）（資料195-3）
 - ・本件については学会MLですでに審議中で、今回は担当者不在のため審議を見送った。
- (2) FSS2015とJNNS全国大会の合同シンポジウムについて（佐藤、林）（資料195-4）
 - ・林副会長より、2学会担当で合同会議をして、次回は2015年（時期は8月か9月）に電通大で開催することになったことが報告され、了承された。双方の学会の責任者である橋山先生（SOFT）と阪口先生（JNNS）は事前に了承済みであり、準備委員会を3月中旬に行う予定であることも報告された。
 - ・林副会長からは、今回の理事会で承認されたら、両方の学会で承認されたことになるが、今回の決定は2015年開催分のみで、合同会議が今後継続するかどうかは不透明であることも説明された。
- (3) 横幹連合次期役員候補推薦（馬野）（資料195-5）
 - ・馬野会長より、現在、横幹連合にはSOFTから理事が出ていないため、是非、出してほしいとのことをお願いされたことが報告された。馬野会長から直接何名かに依頼することになった。
- (4) 国際誌雑誌価格について（林）（資料195-6）
 - ・林副会長より、国際誌の雑誌価格について提案があった。今回の外国雑誌の価格については、純利益を5万円強にするために、販売価格を決めたこと、購読者が少ないので、上乘せ手数料が増えていくことなどの説明があった。理事会では今回の価格設定で承認された。
- (5) ファジィ・コンピューティング研究部会の廃止について（徳丸）（資料195-7）
 - ・徳丸理事より、ファジィ・コンピューティング研究部会の廃止について報告があり、廃止が認められた。
- (6) 学会組織図について（徳丸）（資料195-8）
 - ・徳丸理事より、学会組織図に関する提案があり、モニター委員会をどうするかについて審議した。その結果、これまでの組織図にも入っているため、そのまま掲載することになった。
 - ・その他、研究グループやIFSA Federationなどの記載がわかりにくいと、組織図を見直したほうが良いとの意見が出され、事業委員長（徳丸理事）が修正案を検討することになった。
- (7) FANシンポジウムの今後について（関、馬野）
 - ・馬野会長より、FANシンポジウムに対するSOFTの協力辞退について状況説明があった。引き続き、FANシンポジウムに対する協力復活について検討することになった。

4. ロードマップについて（林）（資料195-9）

- ・林副会長より、総会を目指して、そろそろ検討する必要がある、方向性くらいは出すべきであるという指摘があった。
- ・理事会ロードマップの各項目について、以下の報告や提案がなされた。
 - (1)馬野会長からは、これに関連して、学会誌にコラムを書かせてほしいと編集委員長に依頼したことが報告された。会長としてではなく、個人として記事を書く予定であるとのこと。
 - (2)秋山理事より、学会賞は今回準備ができていなかったため、12月号に間に合わなかったが、2月号には間に合わせる予定であることが報告された。
 - (3)乾口理事より、1回目のアンケートは順調に進んでおり、2度目のアンケートを行うかどうかは1回目の結果によって検討したいとの報告があった。
 - (4)馬野会長より、学会賞選考（秋山）、評議会規定（林）、理事等選出・会費未納者の投票権（馬野）の主担当でまずは議論のたたき台を作成してほしいとの依頼があった。さらに、次期理事推薦委員会について、現在は現理事会が推薦できるという規定があるのを変更すべきとの指摘もあった。前田理事からは、理事会の席上で規程を見ながら全員で審議をしてはどうかとの提案がなされた。
 - (5)徳丸理事より、ファジィ学問塾の今後について、来年9回目なので継続するかどうか検討を進めるべきとの指摘があった。ファジィ学問塾は参加学生には好評であるが、研究室が固定的であり、時期も含めて再検討すべきとの意見も出された。ANGLEの活動が低迷化しているので事業委員会でも活性化を検討したいとの徳丸理事の意見もあった。
 - (6)中嶋副会長より、出前キャラバンはシステム制御情報学会で行われているので、参考になるとの意見があった。
 - (7)中嶋副会長より、研究部会長や支部長のコミュニケーションをベースにして、学会の将来構想を検討する企画をしても良いのではとの提案が出された。IEEEでは論文投稿をする理由を討論する会議があり、そこで得られた知見を学会活動に活かしているとのこと。この提案に対し、代表的な企業の関係者も呼んではどうか、FSSか総会で企画するという方法もある、総会と評議会の際に、各支部長、研究部会長等を招待してはどうか、などの意見が出された。結局、来年の総会に、泊まりがけで「将来構想フォーラム」を開催することに決まった。（中嶋副会長が取りまとめ役）

5. 次回理事会について

次回理事会は、翌年の1月25日または2月1日のいずれかで日程調整をすることになった。